

「平成22年度普及に移す成果」

外観品質に優れるオオバ新品種「ひたちあおば」 (品種登録出願中)

みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センター生物工学研究所
園芸研究所

県内の栽培に適し外観品質の優れるオオバ新品種「ひたちあおば」を育成しました。現地在来系統と比べて、葉形や鋸歯の形状が良く、外観品質に優れます。

葉の外観品質

葉形は、整ったハート型で、「北浦 No.1」に比べ、表面に光沢があり、鋸歯がやや深く、小鋸歯発生頻度が高い等、外観品質に優れます。

また香りが良く、苦味が弱い等、品質も優れます。



「北浦 No.1」: 現地在来系統の中の優良系統

葉の外観 左:「ひたちあおば」 右:「北浦 No.1」(対照)

葉の形状 (H18 生工研)

品種・系統	葉形	鋸歯の深さ	小鋸歯発生頻度	光沢	葉の波打	葉の厚さ
ひたちあおば	ハート形	やや深い	高	強	小	普通
北浦 No.1 (対照)	円形～長卵形	普通	中	普通	中	薄い

生育の特徴

草丈は「北浦 No.1」、「現地在来系統」よりやや短く、節数は「北浦 No.1」、「現地在来系統」よりやや少ないですが、有効茎数(収穫可能な葉を付ける茎の数)は「北浦 No.1」、「現地在来系統」よりやや多い傾向が見られます。

また、抽台は「現地在来系統」よりわずかに発生しやすいですが、「北浦 No.1」より発生しにくくなっています。

現地ほ場での生育 (H18 園研)

作型	圃場名	系統名	草丈 (cm)	節数 (節)	節間長 (cm)	有効茎数 (本)	抽台率 (%)	調査日
夏作	農家 A	ひたちあおば	45.4	13.2	3.4	16.0	-	H18.
		北浦 No.1	53.8	15.8	3.4	15.3	-	8.10
	農家 B	ひたちあおば	58.5	11.4	5.1	26.8	-	H18.
		北浦 No.1	65.8	13.3	4.9	22.0	-	8.17
冬作	農家 B	ひたちあおば	67.1	11.2	6.0	11.9	49.6	H19.
		北浦 No.1	76.3	12.2	6.2	10.8	68.3	2.7
		現地在来	81.1	12.0	6.8	9.0	36.3	

栽培上の留意点

草勢が低下すると収量が減少するので、生育初期の強度の摘葉を避け、草勢を維持してください。また、冬作では抽台しやすいので、電照を行うとともに、施設内の気密性を高め、保温に努めてください。

<問い合わせ先; 生物工学研究所野菜育種研究室 Tel 0299(45)8330、園芸研究所野菜研究室 Tel 0299(45)8341 >